令和３（2021）年４月28日
校長　佐藤俊一

令和３（2021）年度 東京都立八丈高等学校 全日制課程 学校経営計画

○東京都教育委員会目標

○本校の教育目標と目指す学校
『誠　実』『慈　愛』『自　立』

○本校のグランドデザイン

Anniversary 70th since 1948

八丈高校魅力化プロジェクト

～ ＯＮＬＹ　ＯＮＥ　すべては生徒のために ～

「教育内容の充実と進路実績の向上」

「地域協働・探究学習」「Hawai 研修」「企業連携・都立大・産技大等との高大連携」

文部科学省 地域との協働による高等学校教育改革推進事業【地域魅力化型】指定校
東京大学教養学部インターネット配信講座協定校　都立大学・産業技術大学院大学連携協定校
島しょＩＣＴ活用事業モデル校　安全教育推進校　防災教育研究指定校　学力向上研究校
海外学校間交流推進校　Hawaii Waiakea 高校姉妹校

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標と方策
学習指導	**【目標】グランドデザインに基づいた新教育課程の編成と、魅力ある教育活動、進路希望の高いレベルでの実現を目指した授業の充実化** **【方策】** ○将来のデジタル教科書や校務・採点支援システム化に向け IT 化、AI や ICT 教育機器の活用を推進する。 ○教員の資質･能力の更なる向上のため、個人の研鑽をはじめ、オンラインによる授業研究、教員研修など、意図的、計画的、組織的な研修を推進する。 ○文科省の地域協働事業推進校として、高大連携や地域と協働した探究的な学びを推進し、地域課題解決に挑戦する創造的な「八丈島を支える人材」を育成する。地域協働学習実施支援員を教務部へ分掌する。 ○島内の小・中学校との教科間及び学校間連携のため、町教委主催教育研究会の各部会に参加するなどして情報の共有化及び指導と評価の内容や方法の改善を図るとともに、各教科の小中高の系統的学習を推進する。 ○全教育活動を通じてオリンピック・パラリンピック教育を推進し国際交流など八高のレガシーを構築する。 ○視野の広い、国際社会で活躍する人材を育成する。	**【目標】カリキュラムマネジメントによる魅力化の創造** **【方策】** ○新学習指導要領のもと、学力の３要素に基づいた指導とルーブリック等の評価、系統的な学習や教科横断的な学習、探究学習を研究・開発し、研究紀要や学習の手引き「学びの羅針盤」を活用・改訂し、生徒に配布、保護者の活用を推進する。 ○習熟度別授業の充実化の他、IT 化、AI や ICT 教育機器を活用しデータを可視化して定期考査や模試等による学力の定点観測や分析会等で指導の最適化を図る。 ○反転学習を含めた予習・授業・復習の学習サイクルを定着させるとともに、自習室の学習環境整備、オンライン学習、ｅポートフォリオシステムなど、生徒の主体的な学習を支援し学び方と学習習慣を定着させる。 ○図書館機能の充実化と、ICT 機器等を活用するなどして、情報教育やキャリア教育・進路学習を推進する。 ○校内及び小・中学校の授業参観、授業研究を全教員が行い、異校種相互の系統的な授業力の向上を図る。 ○Hawai の高校や大学との連携や姉妹校協定を活用した Hawai 研修で高度な学び合い・相互交流を推進する。	**【目標】わかる授業から「自ら学びたくなる授業」へ** **【方策と数値目標】授業満足度（肯定的評価）85%以上（前年度 80%）、相互授業参観を全教員年１回以上実施** ○教務部の進行管理のもと、教科主任会議の活性化を図り各教科の学校での学習と家庭での学習を意図的、計画的に行ってカリキュラムマネジメントを推進する。 ○オンラインを活用した意図的、計画的な教員研修、授業研究を実施する。 ○教務部と各教科会により定期考査、模試、生徒による授業評価結果等を各教科が分析し授業改善・充実化と統一的な評価基準を策定する。 ○進路希望や習熟の程度の違いに対応するため、各校務分掌と各教科の連携を密にして各生徒の学習状況と選択科目希望を共有し、模試や講習、校内寺子屋の外部人材や AI 教材を活用して確実な学力向上を図る。 ○文科省の地域との協働による高等学校教育改革推進校として、総合的な探究の時間など、地域の特色を生かした系統的な学習や教科横断的な学習を行い、郷土の歴史と伝統文化、産業の理解を深め、探究学習、進路学習、キャリア教育を更に推進する。
園芸科･家政科の充実	**【目標】園芸科、家政科の魅力化と情報発信** **【方策】** ○大学や企業と連携し、将来の高度な園芸・家政の専門人材や起業家・創業家を育成する。 ○消費者教育･主権者教育を充実させ市民性を育む。 ○J-GAP 認証のもと SDGs を推進し地域貢献する。	**【目標】園芸科、家政科の魅力の充実化と情報発信** **【方策】** ○八高祭や体験授業等で、お弁当レシピ開発、食品製造、野菜、草花の販売等を行い、魅力の発信をする。 ○農業クラブや学校家庭クラブを推進、活性化し、活動成果や魅力を島内・島外に積極的に発信する。	**【目標】園芸科、家政科の魅力の積極的な情報発信** **【方策と数値目標】応募者倍率の 10%向上、事故ゼロ** ○町と連携し、継続して島のお弁当レシピ開発を行う。 ○資格試験等の獲得を推進する。事故ゼロを目指す。 ○体験授業、上級学校説明等で島内外の小・中学生や保護者の理解を深め専門学科の魅力を力強く発信する。
生活指導・健康づくり	**【目標】生徒の健全育成と心身の健康･体力向上の推進** **【方策】** ○Hawai 研修など、国際交流リーディング校を目指す。 ○地域と連携した学校危機管理計画等の充実化を図る ○生徒の自立に向けて、自己肯定感を更に高め、社会人として必要なマナー、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力など、非認知能力の向上を図る ○生徒の保健衛生、安全管理等の取組と事故防止を行い心身の健康の増進と体力の向上を図り健全育成する。	**【目標】生徒の健全育成と心身の健康･体力向上の推進** **【方策】** ○Hawai 研修や生徒交流、オリ・パラ教育により生徒の健全育成と国際理解、心身の健康・体力向上を図る。 ○平和学習、人権尊重、自他の生命尊重など、講話や教職員全員による統一指導により更に育成する。 ○SNS など情報モラルの徹底と、生徒が社会的に自立するための資質･能力を育成する。 ○学校全体で感染症の予防と拡大防止に努める。	**【目標】生徒の健全育成と心身の健康･体力向上の推進** **【方策と数値目標】ｵﾝﾗｲﾝを含め海外交流活動５回以上** ○海外学校間交流推進校として、国際交流を推進する。 ○安全教育推進校・防災教育研究指定校として、八丈町と連携した安全教育、防災教育を充実化する。 ○生活指導部主導により、養護教諭や特別支援教育コーディネーターがスクールカウンセラーと連携して特別支援教育・教育相談活動の充実化と、ソーシャルスキルや非認知能力など、自立に向けた教育を推進する。
進路指導	**【目標】進路実績の向上** **【方策】** ○生徒の進路希望の高いレベルでの実現のため、３年間の系統的なキャリア教育の全体計画に基づいた進路学習と在り方生き方の涵養を学校全体で行うとともに、基盤となる非認知能力や態度をはぐくみ、社会的・職業的に自立した人材を育成する。 ○英検の島内実施や、活動報告書作成、校内体制づくりなど、高大接続改革への迅速かつ的確な対応をする。	**【目標】進路実績の向上** **【方策】** ○進路指導部主導で各学年と連携し組織的な進路指導体制のもと、生徒の進路希望を高いレベルで実現する。 ○進路選択に向けた面接指導や講演会、保護者会や保護者との面談等を各学期に実施し、情報共有化する。 ○進路指導部が中心となり各教科と連携して土曜講習や長期休業期間中の講習、自習体制を確立して組織的、計画的に学力向上を図り進路希望の実現につなげる。	**【目標】進路実績の向上** **【方策と数値目標】進路決定率 100%（前年度 98%）** ○学年と連携し「人間と社会」でのインターンシップ等の充実を図り生徒の早い時期での進路選択に生かす。 ○IT 化、AI やｅポートフォリオシステムを活用し外部模試の定点観測と分析を行うとともに、組織的な講習等により学力向上を図り、進路希望を実現させる。 ○早い時期からの意図的、計画的な企業連携や高大連携を推進して、生徒の進路学習を更に充実させる。
特別活動等	**【目標】特別活動等の充実化** **【方策】** ○各部活動の年間活動計画を策定し、発達段階に応じた指導体制のもと、安全性を確保し活性化を図る。 ○生徒会が中心となって、学校行事の一層の充実を図り愛校心や帰属意識、郷土理解、リーダー性を高める。 ○グローバル化、ボーダーレス化への対応として、国際交流を更に推進し TOKYO GLOBAL GATEWAY（TGG）等を活用した４技能５領域など使える英語力を育成する。	**【目標】学校行事や生徒会活動によるリーダー養成** **【方策】** ○地域の社会人や、中学校と連携を図り、競技や発表の実践を通して知識・技能の伸長を図る。 ○学校行事や生徒会活動では、生徒が主役となり生徒自身が企画・運営して達成感と成就感等を経験させる。 ○読書活動を推進し、国語力や表現力を養わせ、読書意欲の向上と未読率の解消を図るとともに、書評合戦等に積極的に参加する。	**【目標】リーダーの養成、部活動加入率の向上** **【方策と数値目標】遅刻年間 15 回以上の生徒減（前年度 3.4%）、部活動加入率 80%（前年度 77%）、図書貸出冊数一人 10 冊以上（前年度６冊）** ○各学校行事等での生徒会役員による講話や各種委員会からの連絡、リーダー研修の国内外の他校との交流等で、生徒会役員及び各委員のリーダー性をはぐくむ。 ○図書室の利用促進のため、図書委員会を中心とした運営や広報活動を充実する。
家庭･地域との連携協力･交流活動、学校広報活動	**【目標】都や町と連携した戦略的な情報発信** **【方策】** ○学校広報活動を経営の第一課題と位置付け推進する。 ○都や町等と連携し本校の更なる魅力化に努め、情報発信し、八丈島への移住・定住、八高生及び海外からの八丈島訪問生徒のホームステイ先の確保、そのほかの方法などを検討、推進して応募者倍率を向上させるとともに、地域貢献、国際交流・相互交流する。	**【目標】家庭、地域との密な連携と、戦略的な情報発信** **【方策】** ○マスメディアに本校の魅力ある取組の情報を提供し、地域と連帯した広報活動を推進する。 ○学校運営連絡協議会等において、地域からの学校理解、学校評価をいただき教育への支援を定着させる。 ○学校施設を積極的に開放し、地域のスポーツ活動・文化活動に参画し、生徒の主体的な参加を促進する。	**【目標】ＩＴ等を活用した戦略的な情報発信** **【方策と数値目標】HP･Twitter 更新年 50 回以上、授業公開来校者数 200 名（前年度 152 名）、第一志望者増加** ○新しいホームページや Twitter、学校案内等を積極的に活用し、タイムリーに情報発信して、学校広報活動と保護者、地域等への情報提供を推進する。 ○授業公開の保護者及び地域住民の参加者数増を目指し開催の周知方法や内容の改善を行い、魅力を伝える。
学校経営・組織体制	**【目標】学校経営の適正化** **【方策】** ○教職の魅力・やりがいを発信し、誰もが八高に勤務したくなるような学校づくりをする。 ○ライフ･ワーク･バランス重視の勤務環境を構築する。 ○本校組織全体の更なる活性化を図り、経営企画室の経営企画機能を高め学校経営参画を推進し教育系と行政系の職員が密に連携した学校運営や施設管理を行う。	**【目標】学校経営参画の推進と組織の活性化** **【方策】** ○八丈町と緊密に連携した危機管理体制を常に見直し、マニュアル化して点検を行い、学校課題等の校内研修を意図的、計画的に実施する。 ○企画調整会議や教科主任会議を中心に学校経営を行い組織的な学校運営、学校経営を行う。 ○都立青鳥特別支援学校分教室の教育活動を支援する。	**【目標】ライフ･ワーク･バランス推進による組織活性化** **【方策と数値目標】超勤時間月 80 時間以上ゼロ･45 時間以上減少、いじめや生徒事故･体罰等の服務事故ゼロ** ○イクボス宣言等のもと、年休等の計画的な消化、学校閉庁日の活用など、ライフ･ワーク･バランスを中心とした学校経営、学校運営を推進する。 ○東京都、八丈町、都立青鳥特別支援学校や分教室と本校との連携を緊密に図る。

＊ 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。